

MATSUMIHAMMA COMMUNITY PUBLIC RELATIONS NEWS

松浜コミュニティだより

第44号

2023.3.31

発行/松浜地区コミュニティ協議会 総務部会
<https://matsuhamacc.jimdofree.com/>



教育文化部会フェイスブック
<https://www.facebook.com/matsucom.ec>



ひょうたん池観察会



地域の見守り活動



松浜コミュニティ協議会 活動について

松浜地区コミュニティ協議会
会長 神田 征男

令和元年、前会長の後を引き継ぎ二期四年、会長の任につきました。新型コロナウイルス感染症が拡大し、収束が見通せない状況の中、各担当部長を中心に部会の開催計画を策定し、こらっせ松浜市、あいさつ運動、ふれあいの集い、青色パトロール等の活動を進めてきました。コミュニティ協議会の活動に対して、皆様からのご理解とご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

また、松浜地区コミュニティ協議会と松浜自治振興会、二つあるお互いの組織の良い面を發揮し、相互に協力し合うことで、地域の課題解決がより一層進むように、総務部会を中心に「あり方検討委員会」を設立し、議論を進めているところでもあります。「コミ協の課題と抱負は大きいものがありますので、引き続き会議を開催していきたいと思っております。」

今後、新しい組織の基に益々、松浜地区コミュニティ協議会が発展できますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

福祉部会 皆様の幸せを願って

Welfare Section

福祉部会 部長 近藤 邦子

令和4年度もコロナの影響で予定されていた行事が半分程しかできませんでした。

そんな中、10月のお茶出しには大勢の人達に来店して頂き、今までにない盛況ぶりでした。イベントを心待ちにしている人達が多いことに驚かされました。

また、年末に実施した講演会では「中野小路たかまる」氏による詐欺のお話で笑いの渦が会場内にあふれていました。

3年近く家に籠る生活となり住民の交流が減少しています。隣り近所の助け合いもお隣同志が高齢で助け合うことが困難になっています。「地域福祉座談会」で毎回同じような問題が上ってきますが解決の目処がたっていません。来年度の福祉部はメンバーを増やして(理想としては各町内か

らつもの)さまざまな部署と連携しながら住民のニーズに合わせた活動を考えています。他人ごとと考えず自分ごととして取り組む社会を目指して。



教育文化部会

Education and Cultural Section

教育文化部の活動を 模索する一年に

教育文化部会 部長 岡 昌子

教育文化部は、主に小中学校と共催しての活動を行ってきました。中学校ではコロナ禍で開催できなかった講座形式のゲストティーチャーを三年振りに、小学校では創立150周年記念事業として、ピアノコンサート、手作りござれや花火大会を開催する事ができました。先日、小中学校のPTA役

員の方と話し合いをする機会を頂きましたが、「コミ協」の認知度の低さを痛感しました。今年度、松浜地区コミュニティ協議会が発足して十八年目に入ります。設立の目的である「コミュニティ活動を通じて、思いやりの心を育て、連帯感をもった住みよい環境づくりと、住民が安心して暮らせる明るく元気な特色ある地域社会づくりを推進する」ため、教育文化部として、何をどのように担っていくのか、これまでの活動をふり振り返りつつ、地域の皆さんと共に考えていければと思っております。ご協力の程、宜しくお願いたします。



環境部会 Environmental Section

新井郷川左岸清掃

環境部会 部長 村山 藤雄

本年度も、環境部はコロナ禍で行事が実施できないなかで、7月と10月に新井郷川左岸の草刈作業を、松浜自治振興会建設部と、雲雀ヶ丘自治会、常盤自治会、みどり自治会、本村二自治会の協力のもと、草刈を終える事が出来ました。



地元学部会

近況報告

地元学部会 部長 村山 和夫

令和4年度も終わろうとしています。地元学部会の活動もコロナの制限がある中で今回、松浜小学校よりゲストティーチャーを1月26日に実施したいとの要望があり、についてはひょうたん池について生徒の皆さんからの質問に答える形で参加してきました。

また、以前より国交省さんをお願いをしていました池におりる斜面の階段化も実現して頂く

事ができました。あとは町内3ヶ所に設置してある、ひょうたん池の案内看板も劣化が進んでいきますので春先には新しくしようと思っています。



総務部会 General Section

コミ協の発展を願って!

総務部会 部長 松田 三郎

総務部会では年に2回のコミュニティだより43号・44号を発行する事が出来ました。しかし、コロナ禍のため思ったような理事会を開催する事が出来なくて大変残念でした。

令和5年度は総会を開催する予定となっておりますが、役員改選や、予算案の承認決議と重要な案件があります。

また、10月にコミ協と自治振興会の共同勉強会を開催したところ、参加した人達の感想として今後の会運営の取り組みに大いに参考になったようです。

これからもコミ協の活動を活発にして住民の理解と認知度を上げるため理事会や部会の開催に取り組みたいと思います。

1月17日の部会ではコミ協の認知度を上げる試みとしてコミ協祭りを計画してはどうか、青空バザールに参加してパネル展示や広報活動を実施するのも面白いのではないかと色々な意見やアイデアが出て若い部員の意見は大切だと実感しました。

現在、コミ協と自治振興会の融合の問題で難航していますが、自治振興会の改革が実施されればコミ協がより発展的に活動出来ることになるでしょう。期待を込めて見守りたいと思います。

令和5年度 各部会の活動を報告します

安心安全部会 Safe and Secure Section

感謝

安心安全部 部長 神蔵 一男

今年度、初めての経験ですが、新潟県赤い羽根共同募金より、子供見守り事業に助成金を提供しますとの連絡が有りました。金額は十二万円振り込まれました。さっそく何が良いか、検討会を開催し、小学校の校外学習に付きそい時に使用する腕章、校区安全マップを作成しようと言う結果になりました。さっそく見積りの結果、腕章30枚、安全マップ千枚の結論が出ました。これにより、マップは各町内会、子供見守り隊、青色パトロール隊、こども110番の家、小学校教職員、父母、中学校、交番、など多岐に配布することが出来ました事、報告させていただきます。ほんの少しで

は、ございますが、安全面が確保できたのではないのでしょうか。新潟県赤い羽根共同募金に感謝申し上げます。ありがとうございました。



産業経済部会 Industry and Economy Section

1年を振り返って

産業経済部会 部長 井嶋 敏弘

令和4年度も後1カ月余り。振り返れば6月12日と10月22日にこらっせ松浜市を松浜市場組合と北新潟商工振興会との共催で開催しました。こらっせ松浜市は例年通りの人出と賑わいでイベントとして定着したようです。

また11月21日はクリスマスリース、12月14日はプチ門松・流木門松手作り体験。「海辺の森・森の会」の方々の協力でこらぼ家にて開催しました。今年度初めての開催でしたが、参加者の皆様も納得のいく面白い企画だったと思います。

令和5年度に向けては、新潟市の「特色のある区づくり事業」にエントリーして魅力ある松浜の

まちづくりに取り組んでいきたいと考えております。まず1年目は、まちづくりに関心のある松浜内外の個人や団体・関係者等を巻き込みながらワークショップを重ね、持続性のある魅力的な賑わい事業を立案してゆく予定です。

